

### コミュニティバスの 現実、交通利便性の 向上を

**問** ①「福祉バスからコミュニティバスに移行検討を19年度に行う」の計画である。できるだけ早く運行してほしいかがか。②小田急バスへ、一中とんぼ池間運行バス増発の申し入れを。

**答** ①関係者間で合意形成を図るための場を今年度設けて一定の方向性を見出し、きたい。②可能性を含めてバス事業者へ申し入れを行っていき

### 上和泉地域センターの トイレを洋式に

**問** ①上和泉地域センター運営協議会初め、多くの利用者から「トイレを洋式に」の強い要望がある。洋式に改善は、②安全確保のために、壊れている箇所の修繕を。

**答** ①和式トイレの利用実態等を踏まえ洋式トイレへの改修を検討していく。②地域センター等から必要な修繕要望を聞き、状況を把握し緊急性、財政状況などを見極めて優先部分を考えていく。

### 西村 あつ子

### 高齢者が安心して 住めるまちに

**問** ①高齢世帯の入居支援策として「あんしん入居制度」等の利用者に対し助成を。②シルバーピア入居の際、生活

保護受給者については庁内で連携をとり保証人なしでも入居可能に。

**答** ①現在の財政状況から助成制度の創設は困難と考える。②現行の制度の中で、具体的な定めができるか研究していく。

### 子育て支援について

**問** ①公立保育園は直営方針が出されたが職員組合との合意について。②園庭開放の充実を。③保育ママの資格研修制度の研究を。④連携保育所等の環境整備をし、保育ママのバックアップを。

**答** ①財政基盤の確立と保育の充実が図られると考える。②今後開催回数をふやしていく必要性はある。③④今後の研究課題とし、これからも努力をする。

### 藤田 鋭

### 中学校給食について

**問** 来年9月実施予定の中学校給食について、①ボックスランチ方式について②業者選定について③栄養士の役割について④保護者への説明について、どうなっているか。

**答** ①委託業者の調理場で調理盛付したランチボックスを生徒に提供する方式②7月下旬に委託業者決定③具体的な準備をしている。中学校給食全般について指導的立場を担う④9月か10月頃に実施したい。

### 多摩川花火大会の 再開を

**問** ①市民からの強い要望である多摩川花火大会の再開について担当部としてはどのように受けとめているか。②前回開催時の予算規模はどのよう

**答** ①市民要望が多いが、明石事故以来安全面の強化が求められている。それらの費用等がどの位か現在検討中。②前回の総額は1860万円。③観覧者の安全確保に尽きる。それに伴う対策費用の増大である。

### 一の橋交差点改良工事 について

**問** 現在進行中の一の橋交差点改良工事の今後のスケジュールはどのようになっているか。

**答** 信号機の移設、その後車道部の工事をし、8月24日の完成予定である。

### 田中 智子

### 介護予防認知症 高齢者対策について

**問** ①認知症高齢者の増加が予測されるが、狛江の現状と今後の対応は。②小規模多機能型施設2カ所設置予定だが早期設置を。③孤独死をなくすために地域見守りネットワークの実現を。

**答** ①グループホームが1、現通所介護事業所が3、現

状はその中で対応できる。予防効果のある事業を研究する。②事業者へ働きかけ施設設置に努力する。③高齢者虐待防止ネットワークをベースに構築する。

### ごみ減量の取り組みに ついて

**問** ①ごみ有料化後の変化と現状は。②今後の課題と対策は。③生ごみ処理機の設置や集団回収をさらに推進すべき

**答** ①有料化前との比較で19%減量。②減量意識の薄れについて、意識の向上を図る。③努力する。④13と18年度の比較で可燃・不燃合わせて32%の減。⑤職員のパトロール強化、委託等によるごみ回収で対応。

### 田辺 良彦

### 財政基盤確立のための 取り組みについて

**問** ①普通会計、公営事業会計、一部事務組合、第3セクターなどの借金総額を住民1人当たりで比較すると、狛江市はどのような位置にあるか②広告に対する道路占用料の不自然な減免は廃止し、財源の確保を。

**答** ①試算では、26市中14位となる。②なるべく早い時期での実施に向けて研究していきたい。

### 自殺対策基本法への対応、 害虫対策について

**問** ①自殺対策について、狛江市はどのようなところから取り組みを始める考えか。②公共施設の周辺でチャドクガが発生する事例がある。その対処方法について、周知する必要があると思うが、いかがか。

**答** ①「健康こまえ21」の自殺者を減らすという健康指標実現に向け、関係機関と連携をとりながら検討を進める。②植木即売会開催のお知らせ、広報等を通して情報提供を行っていく。

### 鈴木 えつお

### 定率減税全廃による住 民税増税への対応—市 民税の減免制度を検討

**問** 国の定率減税全廃で住民税が大幅増税となった。

**答** ①窓口への問い合わせ、②市民税の減免制度の創設、③国保の医療費軽減制度のPR、④要介護高齢者への障害者控除認定制度の改善について問う。

**問** ①6月12日現在問合せ件数は441件ある。②各市の状況等踏まえ、今後検討していく。③各種の減免制度とあわせてPRしていく。④各市の状況を把握した上で改善を検討していく。

### 水道道路と駒井・多摩 川沿い道路の安全対策 —路面表示など実施へ

**問** ①水道道路で3件死亡事故があり、安全対策を求

める都への意見書が採択され、私も都に申し入れた。現在どうなっているか。②駒井町の多摩川沿い道路でも事故があった。交通安全対策を実施すべき。

**答** ①警視庁から調布警察署を通じて、北多摩南部建設事務所カラー舗装等の対応を要請している。②路面表示等について、調布警察署と協議する。

### 障がい者の就労支援、 先進事例に学び市内企 業の協力も得て充実を

**問** 世田谷区の「すきっぷ」という就労支援センターでは、クリーニングや印刷の仕事を通して訓練して93%の人が企業や官公庁に就職している。市で開設予定のセンターを充実したものにしてほしいが

**答** 一人一人のきめ細かなアセスメントを立て、企業に働きかけるなど、一つ一つ努力する。

### 石川 和広

### アクションプランの定 員適正化計画と行財政 改革推進計画について

**問** アクションプランの実行に当たり、最後は「一人」で決まる、改革は人で決まるとの視点から、①効率的な行政運営を行っていくための組織と人のあり方について。②人材育成と人事評価制度の現状について

**答** ①係制の廃止、スタッフ制の導入といったフラット及びフレキシブルな組織を段階的に目指していく。②人材育成基本方針の改定を受けて、19

年度から人材育成型の人事評価制度を構築する。

### 狛江市監査委員17年度 決算審査意見書での指 摘事項について

**問** 施設修繕料について、見積書が1社だけ、内訳一式と内容が不明など業者への対応が甘いとの指摘があったが、アクションプラン実行者としてコスト意識が欠如していないか。現在は改善されているのか。

**答** 17年度以降原則として見積書は2社以上、内部明細がわかるものを徴するよう改善している。ご質問を踏まえ再度各課に周知徹底したい。

### 亀井 和美

### 子育て支援について

**問** ①妊産婦検診の公費負担。経済的基盤の弱い若いカップルが、母子共に健康に出産できるように、現在2回の無料検診を公費負担で14回に。②乳幼児に支給されている紙おむつの指定袋のサイズ変更を。

**答** ①現段階で14回は大変難しい。5回実施に向け、多摩府中保健所管内の近隣市と共に五者協を通じて調整を図る。②条例、規則の見直しの際、検討したい。

